

# 令和六年度第三十七回夕暮祭短歌大会入賞歌

## 秦野市長賞

(敬称略)

春尋ね子のあとを追う楽しさよいつしか歩幅広くなりけり

愛知県名古屋市

柘植 雅一

## 秦野市教育委員会教育長賞

ささくれを爪切りで切るくらいには日々を大事に生きてるつもり

神奈川県横浜市

樫下 小春

## 秦野中ロータリークラブ会長賞

夏雲の湧く水張田を逆さまにあゆみて帰る黄帽子の子ら

群馬県高崎市

井田 建

## 山田吉郎選者賞

必勝と激励まぶしい夜だけは遮光カーテン閉めきりねむる

神奈川県川崎市

松田 理穂子

## 寺尾登志子選者賞

ゲタさん、ゾウさん、パクさん、マンガさん、ロシアに行つてよ。  
トロイカ歌つてよ

愛媛県新居浜市

大賀 康男

## 佳作

呼吸器のアラム鳴りて目が覚めぬ あるはずのない夫の横顔

京都府舞鶴市

鯨本 ミツ子

縄文の指紋の跡はきつと父一万年の力の窪み

東京都練馬区

稲山 博司

伯父の背にのこる二つの手術跡弾痕と知りしは銭湯松の湯

神奈川県座間市

遠藤 寛

サザエさんみんな若くていいわねと祖母は呟く葬儀の夜に

神奈川県秦野市

金沢 潤子

自習室開いたままの参考書誰かが脱いだ重たい鎧

山梨県山梨市

窪川 葵

今ここでエンドロールが流れば良い人のまま私は終わる

東京都世田谷区

熊谷 未来

冬暁踏み出せぬまま閉じたドア本を枕に芽吹く日を待つ

神奈川県厚木市

小林 愛佳

小三の子には友との世界ができた母は離れたベンチに座る

宮城県仙台市

鈴木 恵

教室の 景色が変わる 新学期 春風するりと 通り抜けてゆく

神奈川県秦野市

外久保 咲羽

友だちに誘われ行ったお祭りで役を頑張るあの子見つめる

岐阜県加茂郡川辺町

武田 菜々美

古本にふわり漂う時間(とき)の香どんな手のひらを旅してきたのか

茨城県那珂市

玉井 萌々華

妹と同じリボンをつけた子が名前呼ばれて跳ねる小児科

神奈川県横浜市

鳥野 空音

帰宅した夫の荷物の中で咲く定年の日の小さなブーケ

東京都武蔵野市

西林 美沙子

さくら降るあるとき母は花びらのひとつに触れむと空に手を伸ばす

神奈川県秦野市

福島 健太郎

休農と離農の家を素通りし集乳車は村の八戸を巡る

北海道札幌市

藤林 正則

干しエイのような顔して耐え忍ぶ部活後直の塾で数I

神奈川県横浜市

古川 眞帆

ぜんまいの解けて緑の風立てば友の平癒を今朝も祈りぬ

神奈川県伊勢原市

増井 智子

読み返す挟んだしおりそのままに君がいた春色褪せぬまま

神奈川県相模原市

門眞 由佳

聖地てふ矢櫃峠を漕ぎ行けば真白き辛夷風に揺れをり

神奈川県横浜市

山本 孝子

ゆつくりで結構やさしく咲いてゆけ療育の帰路に八重桜揺る

千葉県千葉市

吉原 成美